

平成24年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	富永 栄二	内線	288
事務事業名	地域支援事業（包括的支援事業・任意事業）		事業期間	平成 22 年度 ～ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実②					
	細施策	介護サービスの充実と地域ケアの推進					
根拠法令・条例、関連計画等	国の地域支援事業実施要項、厚生労働省老健局介護保険計画課長通知「『第2期（平成23年度～平成26年度）介護給付適正化計画』に関する指針について」、鹿児島県介護給付適正化プログラム						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	
	介護給付費適正化事業費	06	04	02	05	001	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

介護サービスを必要とする人へ適切にサービスを提供する体制の確立を図るとともに、不適切な給付の削減を図り、介護保険制度に対する一層の信頼感の醸成や介護給付費及び介護保険料の増大を抑制することを通じて、持続可能な介護保険制度の構築を目指し、介護サービス事業者をはじめとした関係機関が連携しながら、介護給付適正化に積極的かつ計画的に取り組むことを目的とするものです。

3 事務事業の概要

H23年度の事業概要	H24年度の事業概要・計画	H25年度の事業計画	H26年度の事業計画
介護給付費通知書送付 9月→2,733件 3月→2,879件	介護給付費通知書送付 9月→3,000件 3月→3,000件 鹿児島県介護給付適正化プログラムに基づく出水市独自のプログラム（計画書）の作成	介護給付費通知書送付 9月→3,000件 3月→3,000件 パンフレットの作成 出水市独自のプログラム（計画書）による適正化事業の実施	H25年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
介護保険サービスを利用した被保険者 介護サービス事業者・認定調査員等	毎年2回国保連合会に介護給付費通知書を作成依頼し、直接郵送する。 国保連から出力された帳票に基づき、通知書をチェックし介護給付費の過誤を発見した際、介護サービス事業者等へ連絡する。 介護サービス事業者や認定調査員等への研修会の開催
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
介護給付費通知書とサービス利用票及び領収書の内容を照らし合わせて、サービスの日数や利用者負担額に間違いがないかを確認していただき、介護保険制度の理解を深めてもらう。 介護給付費の過誤を発見することにより、介護サービス事業者の適切な介護サービス費等の請求につながる。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	最終目標	
							年度	目標値
活動指標	① 介護給付費通知書送付件数	件	5,612	6,000	6,000	6,000		
	②							
成果指標	① 適正化による介護給付費過誤件数	件	0	50	100	100		
	②							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	適正化事業を実施することによる不適切な給付の削減が図られ、介護給付費の抑制が図られる。
有効性	廃止・休止した場合の影響はありますか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	介護給付適正化の取組は、決して機械的に給付を削減することを目的とするものではなく、不要・不適正なサービスが提供されていないか等の検証をあらゆる視点から行い、介護給付の適正化を図るものであるため廃止できない。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	介護給付費通知書作成と送付手数料及びパンフレット作成に伴う経費になっており、後は現職員による帳票等のチェックのため削減の余地はない。逆に専門的に取り組めていない。
効率性	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	無し
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	県内ほとんどの市で実施している。	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	目に見えての事業効果が表れるものでないが、給付等の適正化としては継続が必要な事業である。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	介護給付費の適正化のため継続とする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に継続とする。